

女流義太夫演奏会

瑠璃の会

第10回

「花競四季寿」

萬歳

浄瑠璃 豊竹 呂馨
三味線 竹本 住蝶
豊澤 住静
住輔

「菅原伝授手習鑑」

寺入りの段

浄瑠璃 豊竹 呂秀
三味線 豊澤 住嘉
初舞台

「三十三間堂棟由来」

平太郎住家より木遣音頭の段

浄瑠璃 竹本 土佐恵
三味線 鶴澤 駒清

「義経千本桜」

道行初音旅

浄瑠璃 竹本 住蝶
三味線 竹本 住年
豊竹 呂秀
豊澤 呂馨
住静
住輔
住嘉

出演者によるアフタートーク

司会 畑 律江 (毎日新聞客員編集委員)

令和8年(2026年)3月8日(日) 開演13時 (12時半開場/15時半終演予定)

【会場】 国立文楽劇場 小ホール

【入場料(全席自由)】 一般 3,000円 青少年割(30歳以下) 1,000円

※ご予約時にお申し出の上、
当日身分証明書をご提示ください

【お申込み・お問合せ】

◆瑠璃の会ホームページ⇒QRコードからアクセスしてください。
<https://rurinokaigidayu.wixsite.com/rurinokai-gidayu>

◆一般社団法人義太夫協会 .. 03-6264-3047

◆瑠璃の会事務局 06-6718-6752

【主催】女流義太夫瑠璃の会

【後援】一般社団法人 義太夫協会

【助成】大阪府文化振興基金



大阪府芸術文化振興事業



大阪府文化振興基金
Osaka Prefectural Fund
for the Enhancement
of Cultural Activities

「花鏡四季寿」萬歳

文化六（一八〇九）年に初演された景事物で、春「萬歳」、夏「海女」、秋「閑寺小町」、冬「鶯娘」の四段返し構成となっています。この「萬歳」では、お正月の町々を、太夫と才蔵が賑やかに鼓を打ちながら、おめでたい言葉を並べて新年を寿ぎます。

「菅原伝授手習鑑」寺入りの段

菅原道真は藤原時平の讒言によって配流となりました。道真の弟子、武部源蔵と戸浪の夫婦は、京都の山奥、芹生の里で寺子屋を営みながら、道真の子息・菅秀才を、我が子と偽って育てています。源蔵が村の寄合に呼び出された留守中に、寺子屋に入門を希望する子ども、小太郎が母親に連れられて訪れます。この後、この小太郎が菅秀才の身代わりとなる有名な悲劇「寺子屋の段」へと物語は進んでいくのです。

「三十三間堂棟由来」平太郎住家より木遣音頭の段

大昔、柳（なぎ）と柳が技を交えて夫婦となりました。時が流れ、柳はお柳、柳は平太郎という人間に生まれ変わり、みどり丸という子を設けるも、柳の木が切り倒されることとなり、家族に別れが訪れます。別れを惜しんで動かなくなった柳の大木が、平太郎父子の木造り音頭によって動き出す場面は、名曲とともに心にしみるクライマックスとなっています。

「義経千本桜」道行初音旅

音楽的要素の強い道行の中でも、屈指の名曲と称される人気作です。源義経が吉野に逃れたと聞いて、春の大和路を一人旅する静御前が、義経から預かった「初音の鼓」を打ち鳴らすと、遅れていた家臣の佐藤忠信が忽然と姿を現わします。実はこの忠信は、鼓の皮にされた夫婦狐の子供である狐が親を慕って化けているのですが……。忠信が、兄の継信が討ち死にした合戦の様子を物語るうちに、二人は吉野に到着するのです。

会場

国立文楽劇場 小ホール

〒542-0073 大阪府大阪市中央区日本橋1-12-10
TEL 06-6212-2531(代表)

地下鉄(堺筋線・千日前線)「日本橋」駅、または、
近鉄奈良線「近鉄日本橋」駅
7号出口より徒歩1分

※駐車場はございませんので、車での来場はご遠慮ください。



●公演最新情報について

公演中止の場合等、最新の情報については瑠璃の会ホームページでお知らせいたしますので、ご確認くださいようお願いいたします。

瑠璃の会ホームページ▶



「女流義太夫瑠璃の会」
YouTubeチャンネルはこちら！

